

ICT を活用した授業づくり～タブレット端末を導入したら～

1 指導学年 小学校 3年生

2 指導教科 体育

3 単元名 跳び箱運動

4 単元の目標

○基本的な支持飛び越し技（切り返し系，回転系）に取り組み，それぞれの系について自己の能力に適した技ができるようにする。（技能）

○跳び箱運動に進んで取り組み，きまりを守り仲良く運動したり，場や器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。（態度）

○基本的な技の練習の仕方を知り，自分の力に応じた練習方法や練習の場を選ぶことができるようにする（思考・判断）

5 評価規準

自分の力にあった練習の仕方や場を選んで練習することができているか。

6 ICT 活用の目的，期待される ICT 活用の学習効果

① タブレット

児童が自分の動きを確認するために，技を行っている姿を撮影する。

② NHK for school 番組・テレビ

児童が技のポイントを知ったり，見本となる動きと自分の動きを比べたりするために，NHK 学校放送番組「はりきり 体育ノ介」を活用する。見本となる映像はテレビに映し，タブレットで撮った自分たちの姿と比較できるようにする。

できるようにする。

7 ICT 活用コンテンツ・機器

・タブレット ・テレビ ・NHK for school 「はりきり体育ノ介」

8 指導過程（6／8）

段階	学習活動	予想される児童の反応	○指導上の留意点 ●評価 (太字は ICT 活用場面)
導入 10分	1 準備・準備運動 2 感覚づくり運動 ・カエル倒立 ・馬跳び ・サーキット (カエルの足うち→前転→ うさぎ跳び→ステージ跳 び乗り)	<ul style="list-style-type: none"> ・動かないようにがんばろう。 ・リズムよく跳ぼう。 ・手をつく位置を考えよう。 ・しっかりへそを見て前転しよう。 ・足の裏でステージに乗れるようにしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの運動のポイントを押さえさせる。 ○腰が上がっていたり，しっかり支持できている児童を褒める。

展開 25分	2 本時のめあての確認 自分のめあてに合った練習の仕方や場所を選んで練習しよう		
	3 自分の力に合った練習方法を考え、練習する。 ① めあて1 今できる技で、高さ・向き・できばえに挑戦する。 ② めあて2 自分のできそうな技に挑戦する。	<ul style="list-style-type: none"> ・開脚跳びの技のできるポイントを思い出そう。 ・バーンと力強く踏み切れているかな。 ・手を遠くに着けない。 →段差のある跳び箱で練習 ・かかえこみ跳びで手より足が前にいかない。 →ステージジャンプで練習 ・跳び箱の上では怖くて回れない。 →セーフティマットで前転 ・自分の動きと見本の動きを比べてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレットを活用し、自分の動きがどうなっているか、友達と一緒に確認させる。 ○自分の動きを撮影したタブレットと、見本の動画のTVを見比べ、どうするともっときれいに技ができるか考えさせる。 ○踏切り・着手・着地など見合うポイントを焦点化させる。 ○音も意識させる。 ○自分は～ができないからこの練習をするということを意識させる。 ●自分の力に合った練習方法や場を選んでいる。(観察)
終末 10分	4 本時の振り返り ・振り返りカードを書く。		○本時をふり振り返らせ、次時のめあてにつなげる。

9 成果と課題

- タブレットを活用することによって、子供たち同士が動きを見合うようになった。
- 番組を見て、技を確認することによって、技のイメージを持つことができた。
- 児童がタブレットを使って自分の動きを確認し、見本の動画と比べることによって、自分の課題を明確にすることができた。
- タブレットで自分たちの動きを撮影する際やタブレットを見ながら話合う際に場所を示し、安全面に配慮する工夫が必要である。
- より効果的に活用するための機能を教師が知っておく必要がある。